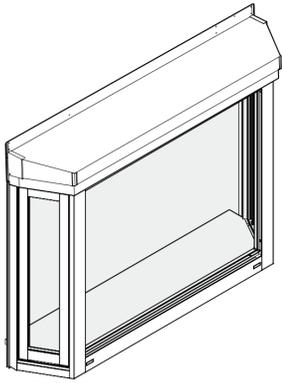
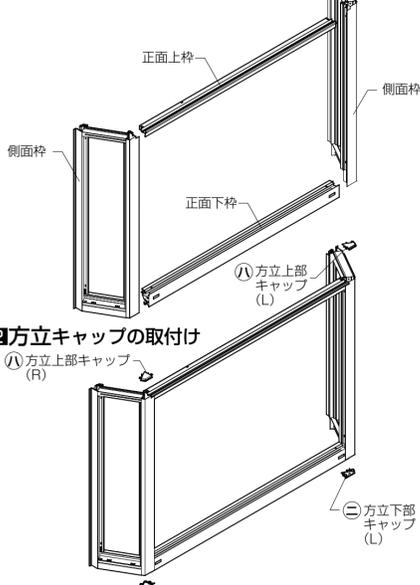


■ 姿 図

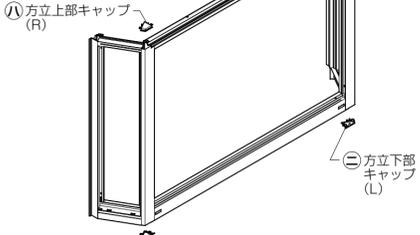


■ 組立て順序

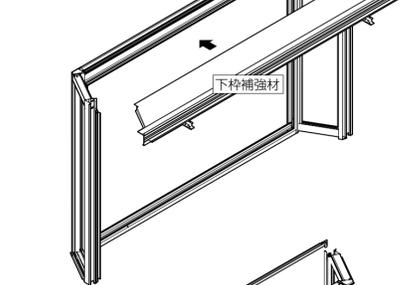
1 正面上・下枠と側面枠の組立て



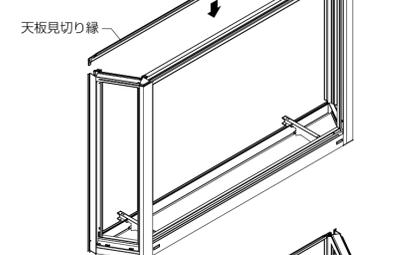
2 方立キャップの取付け



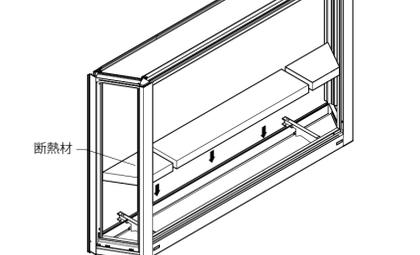
3 下枠補強材の取付け



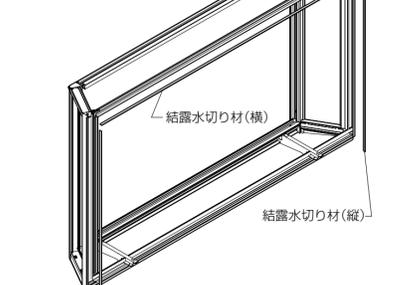
4 天板見切り縁の取付け



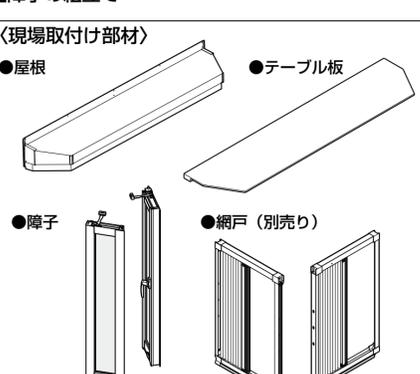
5 断熱材のはめ込み



6 結露水切り材(別売りの)の取付け (使用する場合のみ)



7 障子の組立て



■ 組立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

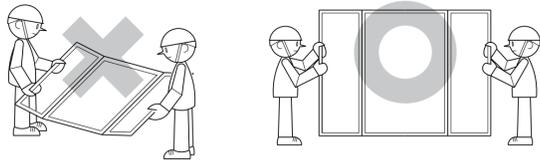
▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は複層ガラス使用のため、組立て後の製品重量は最大約70Kg(屋根を含めると80Kg)になります。運搬は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでお守りください。
 - ・組立て時、コーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すようにあわせてください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5N \cdot m$ { $25 \pm 5kgf \cdot cm$ }のトルクで止めた後、緩みがたつきのないことを確認してください。
 - ・屋根用シール材は絶対にはがさないでください。

■ 組立て上へのお願い

- 本製品は、本体・屋根・障子・下枠補強材で構成され、それぞれ別梱包となっています。
- テーブル板は色・形状を選定するため、別売りとなっています。
- テーブル板と屋根の内側に雨がつかないようにしてください。製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 必ず下枠補強材を取付けて出窓を立てた状態で運搬してください。枠が変形するおそれがあります。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。



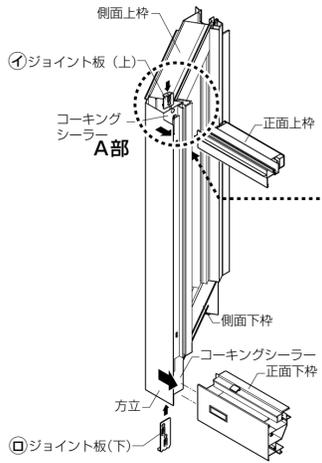
■ 組立て詳細

※図中の記号は、組立て部品一覧表の記号を示します。間違いないよう使用してください。

1 正面上・下枠と側面枠の組立て

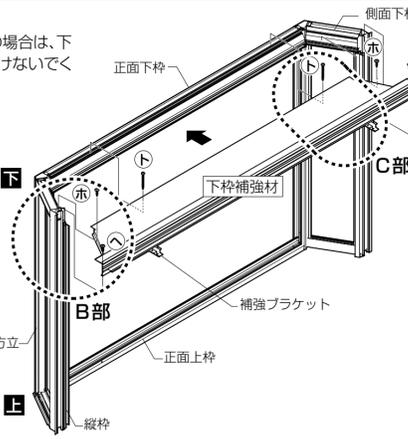
- ①正面上枠両端の部品を方立の穴に当て、ジョイント板(上)をハンマーなどで最後まで打込みます。
- ②同様に、正面上枠・ジョイント板(下)を取付けます。ジョイント板を打込む際は、方立に正面上・下枠が必ず入っている事を確認してください。枠が変形するおそれがあります。
- ※ジョイント板は、必ず最後まで打込んでください。屋根・方立キャップが取付けられなくなります。

▲注意 ●コーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように合わせてください。



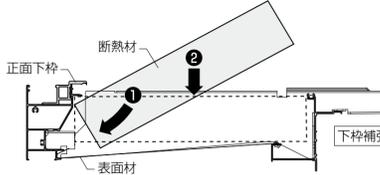
3 下枠補強材の取付け

- ※居室用外部ボックス使用の場合は、下枠補強材・断熱材は取付け不要です。
- ①下枠補強材から断熱材を取り出します。
 - ②正面上枠に下枠補強材を差込みます。補強ブラケット及び表面材が正面上枠に差込まれている事を必ず確認してください。
 - ③縦枠リブに水切り位置を合わせ、ねじ止めします。
 - ④正面上枠と補強ブラケットを固定します。補強ブラケット本数必ず固定してください。
 - ⑤表面材と側面下枠を固定します。



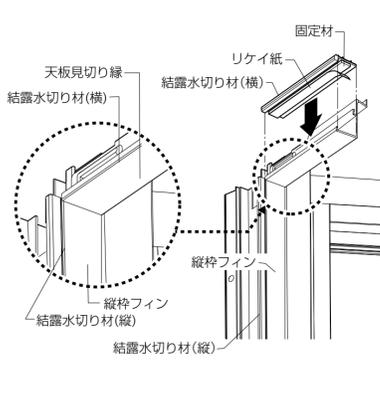
5 断熱材のはめ込み

- ③④で取出した断熱材を下枠補強材へ押込みます。



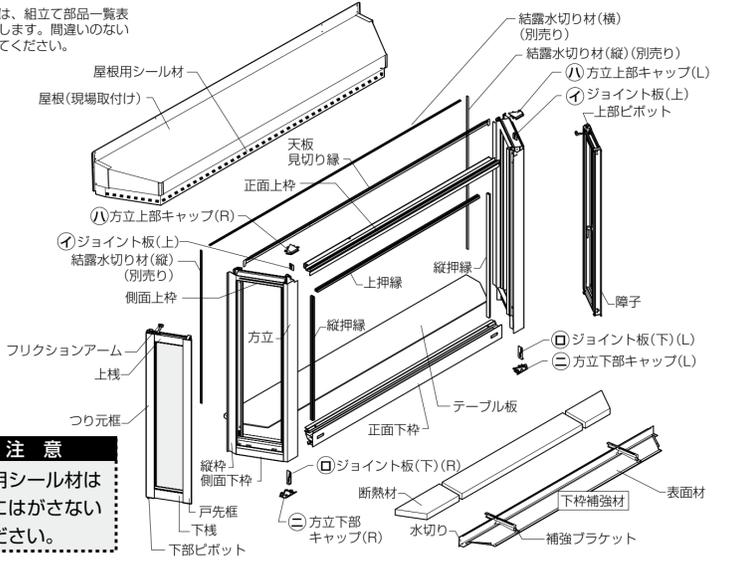
6 結露水切り材(別売りの)の取付け (使用する場合のみ)

- ①結露水切り材を、本体に合わせて切断します。
- ②固定材のリケイ紙をはがし、縦枠フィン・天板見切り縁の順に圧着します。



■ 各部名称図

※図中の記号は、組立て部品一覧表の記号を示します。間違いないよう使用してください。



▲注意 ●屋根用シール材は絶対にはがさないでください。

■ 組立て部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いないよう使用してください。

● 本体組立て用

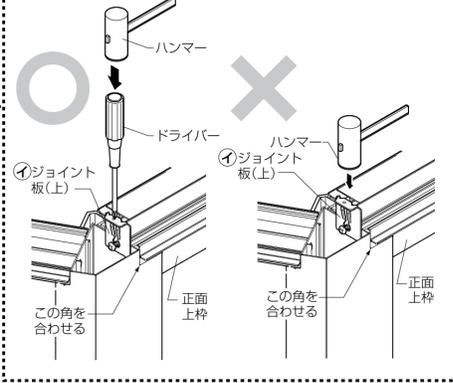
記号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
名 称	ジョイント板(上)	ジョイント板(下)	方立上部キャップ	方立下部キャップ	トラスタッピンねじ φ4×16	シール付ビスインドねじ M4×10	ナベタッピンねじ φ4×35
姿 図							
使用箇所	正面上枠・側面枠	正面上枠・側面枠	方立上部	方立下部	表面材・側面下枠	縦枠・水切り	正面上枠・補強ブラケット
袋表示							

● 障子組立て用

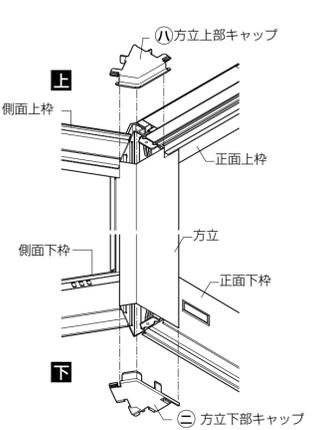
記号	⑧	⑨	⑩
名 称	ナベタッピンねじ φ4×45	プッシュボタン φ8用	長穴プッシュボタン
姿 図			

■ A部詳細図

- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

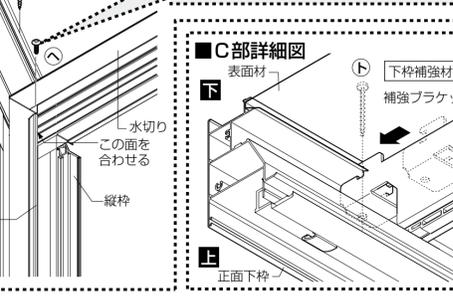


2 方立キャップの取付け



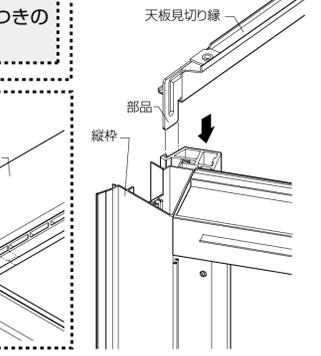
■ B部詳細図

- ねじは $2.5 \pm 0.5N \cdot m$ { $25 \pm 5kgf \cdot cm$ }のトルクで止めた後、緩みがたつきのないことを確認してください。



4 天板見切り縁の取付け

- 天板見切り縁両端の部品を、縦枠に差込みます。



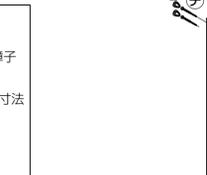
7 障子の組立て

(1) グレイジングチャンネルの取付け

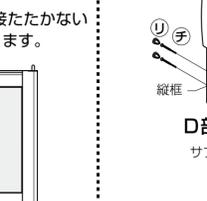
- ①ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル(別売り)を用意し、ガラス4周に回します。
- ※コーナー部はグレイジングチャンネルがくいまないようにしてください。
- ②ガラス室内側の4隅のカット部及びジョイント部に、ガラスコーナースील(別売り)を張りませ。
- ※高断熱・高气密住宅の場合、必ず実施してください。

(2) 障子の組立て

- ①ガラスコーナースीलを室内側にして、上下枠に差込みます。
- ※上下枠の切欠き部にグレイジングチャンネルが合うように差込んでください。(D部詳細図)
- ②左右縦枠を差込み、上下枠とねじで仮止めします。
- ③障子の対角寸法を合わせた後固定します。
- ④縦枠に、プッシュボタン及び長穴プッシュボタンを取付けます。



※運搬の際は、フリクションアーム・上下部ピボットが変形しないようしてください。



■ グレイジングチャンネルの使い分け

種 類	ガラス厚18~20mm用	ガラス厚21~22mm用			
ガラス総厚	18mm	19mm	20mm	21mm	22mm
グレイジングチャンネル					
※ガラスの上下を正しく合わせてください。	1枚ハクリして使用ください。 / 2枚ハクリして使用ください。 / 1枚ハクリして使用ください。				



■ D部詳細図

